

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GSビッグデータ・ストラテジー（グローバル株式）DC」は、このたび、第4期の決算を行いました。本ファンドは、日本を含む先進国の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用した独自開発の計量モデルを用いて多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第4期末(2023年3月10日)		第4期	
基準価額	15,105円	騰落率	13.70%
純資産総額	3,790百万円	分配金合計	0円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

交付運用報告書

GSビッグデータ・ストラテジー
(グローバル株式)DC

追加型投信／内外／株式

第4期(決算日2023年3月10日)

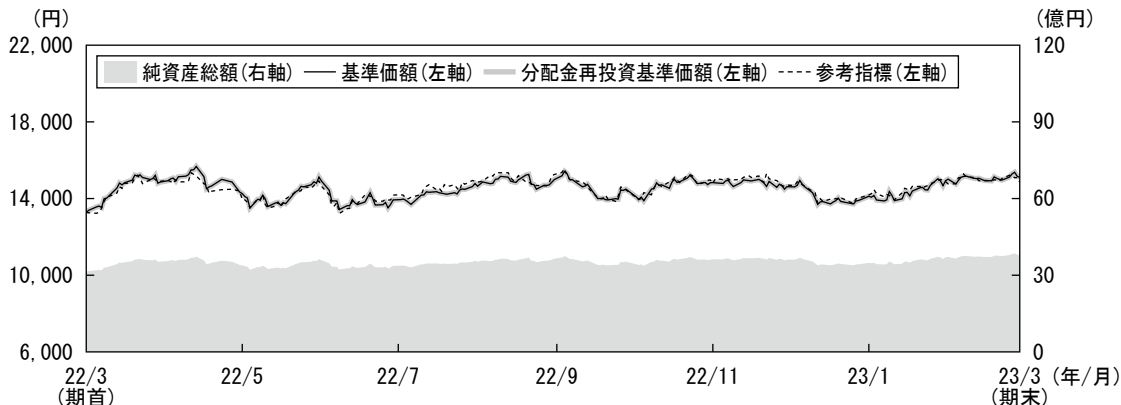
作成対象期間: 2022年3月11日～2023年3月10日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先: 03-6437-6000(代表)
受付時間: 営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2022年3月11日～2023年3月10日）



第4期首：13,285円

第4期末：15,105円

（当期中にお支払いした分配金：0円）

騰落率：+13.70%（分配金再投資ベース）

- (注1) 参考指標は、MSCIワールド・インデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

○本ファンドの基準価額は、期首の13,285円から1,820円上昇し、期末には15,105円となりました。

上昇要因

銘柄選択における投資テーマ「バリュー」がプラス寄与となったことなどが、基準価額の上昇要因となりました。また、米ドルなどが円に対して上昇したことも基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

世界株式市場（現地通貨ベース）が下落したこと、銘柄選択における投資テーマ「モメンタム」および「収益性」が小幅マイナス寄与になったことなどが、基準価額の下落要因となりました。

■ 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、円換算ベース）

ファンド名	騰落率
ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ* ¹	14.61%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド* ²	20.39%

（注）純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- * 1 ルクセンブルク籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. - ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ IOアキュムレーション・スナップ・シェアクラス
- * 2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー-ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド X アキュムレーション・クラス

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2022年3月11日～2023年3月10日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	116円 (80)	0.797% (0.550)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种種類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(32)	(0.220)	
(受託会社)	(4)	(0.027)	
その他費用 (保管費用)	7 (3)	0.048 (0.023)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(1)	(0.006)	
(その他)	(3)	(0.019)	
合計	123	0.845	

期中の平均基準価額は14,548円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

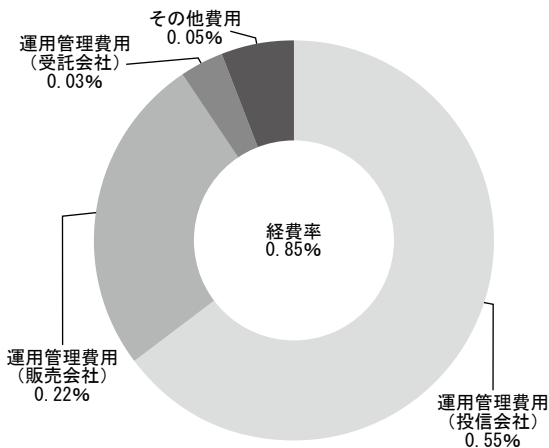
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

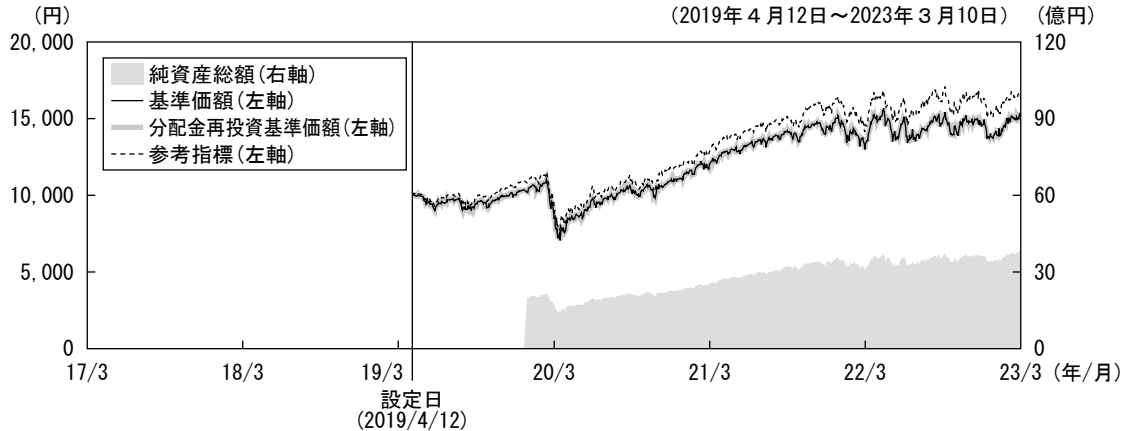
当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.85%です。



経費率 (①+②)	0.85%
①このファンドの費用の比率	0.85%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—%

- (注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。
- (注4) 投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- (注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、設定日（2019年4月12日）の基準価額を起点として指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2019/4/12 設定日	2020/3/10 決算日	2021/3/10 決算日	2022/3/10 決算日	2023/3/10 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	8,455	12,042	13,285	15,105
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	-15.45%	42.42%	10.32%	13.70%
参考指標騰落率	—	-13.13%	49.14%	12.62%	11.80%
純資産総額（百万円）	2	1,674	2,541	3,145	3,790

(注) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

■ 投資環境について

<世界株式市場>

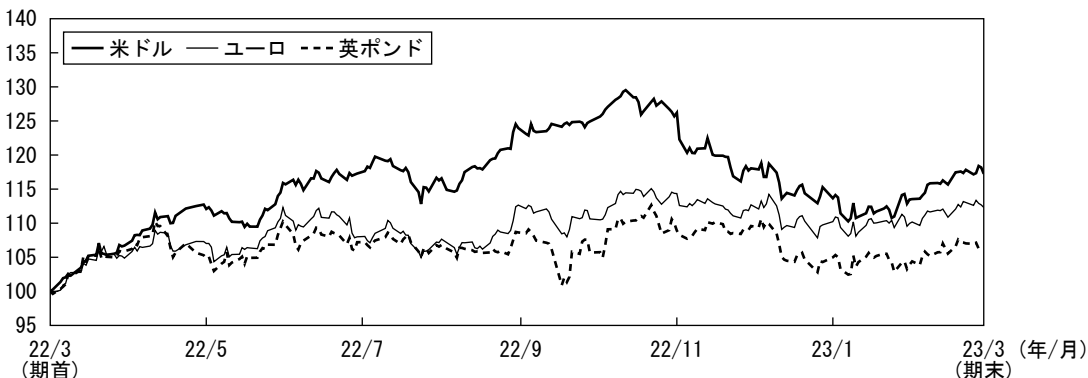
当期の世界株式市場は下落しました。

上旬は、ロシアのウクライナへの侵攻が長期化するとの見方や、ロシアがウクライナにある欧州最大規模の原子力発電所へ砲撃したことなどをを受けてリスクオフの動きが広がったことや、ロシアに対する米欧の経済制裁により商品価格が高騰し、世界経済に打撃を与えるとの懸念などを背景に、世界株式市場は下落しました。中旬は、米国において企業業績の改善期待を背景にハイテク株を中心に広く買われた展開となったことや、米長期金利が低下したことなどから世界株式市場は上昇する場面もありました。しかしながら、ペロシ米下院議長の台湾訪問による地政学リスクが嫌気されたこと、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長のジャクソンホール会合での発言で再び下落トレンドに向かい、FRBが主要政策金利の引き上げを決定し、タカ派姿勢を強く示したことから景気後退に対する警戒が一段と高まり、世界株式市場は下落しました。10月になると、8月の米求人件数や9月のISM（全米供給管理協会）製造業景況感指数が市場予想を下回ったこと、英国の減税計画撤回、10月の米総合CPI（消費者物価指数）が市場予想以上に減速したことで、利上げ幅の縮小観測が高まり、世界株式市場は上昇しました。下旬は、ISM非製造業景況感指数が市場予想に反して上昇したことで、FRBが金融引き締めを継続するとの観測が広がり、世界株式市場は下落する場面もありました。その後は、米雇用統計で米賃金インフレ鈍化の兆しが示されたことから金融引き締め長期化への懸念が後退、中国のゼロコロナ政策解除による景気回復への期待から世界株式市場は上昇して推移したものの、前期末比で下落する結果となりました。

<外国為替市場>

外国為替市場では、米ドルや英ポンド、ユーロなどは円に対して上昇しました。

○為替レート（対円）の推移



出所：一般社団法人投資信託協会

(注) 各通貨は期首を100として指数化しています。

<短期金融市場>

当期において、米国T-Bill 1 ヶ月は前期末の0.13%程度から4.18%程度まで上昇して期末を迎えました。

■ ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオを概ね高位に組入れることで、日本を含む先進国の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。

<ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ>

日本を含む先進国の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざしました。

当期においては、国別配分効果、銘柄選択効果ともにプラス寄与となりました。国別配分効果は、イタリアおよびデンマークへのオーバーウェイトがプラス寄与となりました。また、当運用では、最新のビッグデータや伝統的な市場・業績データなどをもとに、モメンタム（Momentum）・バリュアー（Value）・収益性（Profitability）の投資テーマを通じた数百もの評価基準（MVPモデル）に基づき、投資対象候補銘柄すべての投資魅力度を総合的に評価した上で、ポートフォリオの最適化を図っていますが、当期は、「バリュアー」はプラス寄与となったものの、「モメンタム」および「収益性」が小幅マイナス寄与となりました。

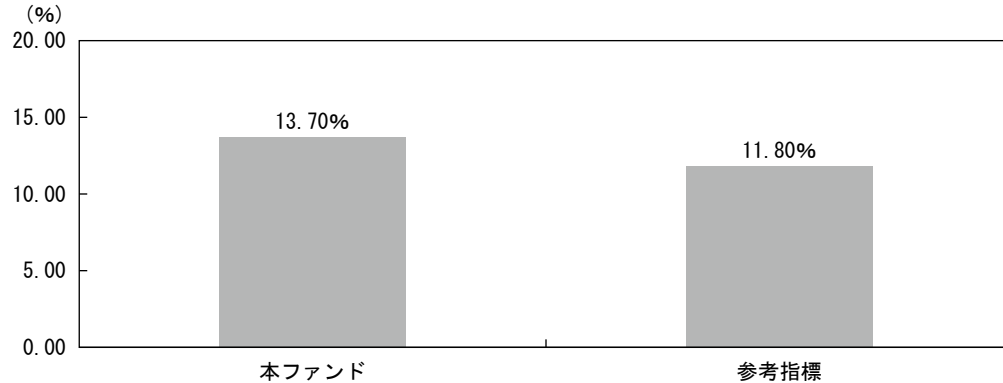
<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>



(注) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、+13.70%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+11.80%となりました。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、当期の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

（単位：円・%、1万口当たり・税引前）

項 目	第 4 期
	2022年3月11日～2023年3月10日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,105

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続き、ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオを高位に組み入れ、日本を含む先進国の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。

<ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ>

日本を含む先進国の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざします。

<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

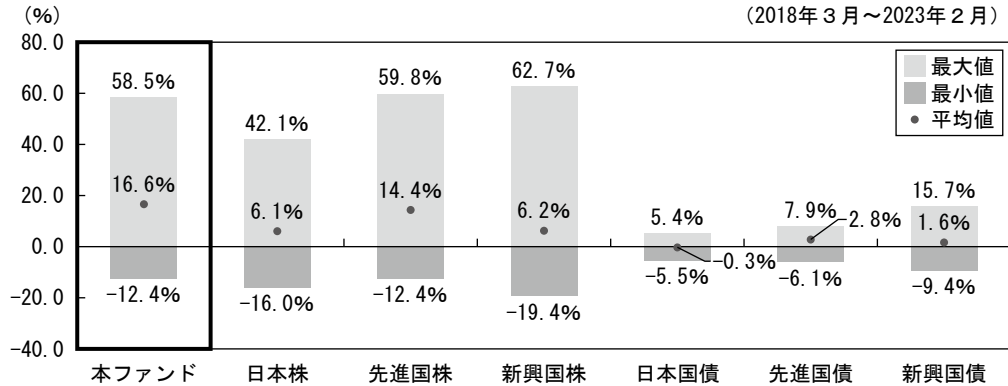
今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	原則として無期限
運用方針	主として日本を含む先進国の株式を主要投資対象とし、計量分析を用いて投資対象のリターン予測を行うと同時にポートフォリオのリスク・リターン特性の最適化プロセスを経ることによりリスク管理を行う投資信託証券への投資を通じ、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. <ul style="list-style-type: none"> ①ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー <ul style="list-style-type: none"> ②ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	日本を含む先進国の株式および株式関連証券
指定投資信託証券②	米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年3月10日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定しますが、長期的な信託財産の成長に資するため、収益分配金は少額に抑えることを基本方針とします。

（参考情報）

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2018年3月から2023年2月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、本ファンドの1年騰落率は、各月末の直近1年間の騰落率であるため、設定日（2019年4月12日）から1年後の2020年4月以降のデータを表示しており、過去5年間のデータではありません。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・代表的な資産クラスの騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

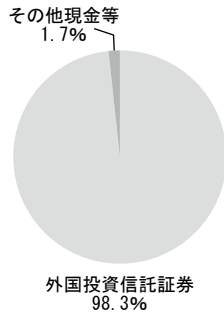
■ 本ファンドの組入資産の内容（2023年3月10日現在）

○ 組入れファンド

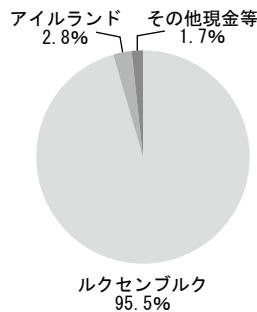
（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ	95.5%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.8%

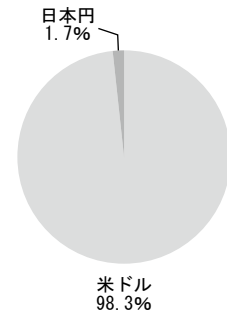
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

項目	第4期末
	2023年3月10日
純資産総額	3,790,587,274円
受益権総口数	2,509,476,176口
1万口当たり基準価額	15,105円

（注）期首元本額は2,367,484,034円、当作成期間中において、追加設定元本額は491,989,619円、同解約元本額は349,997,477円です。

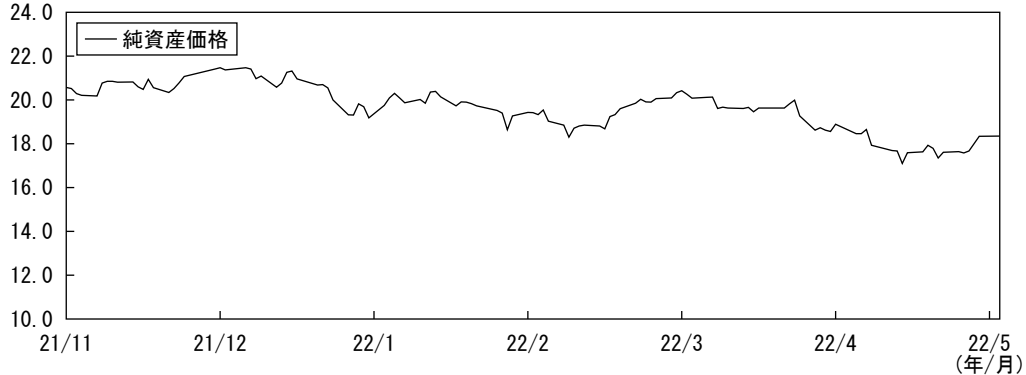
■ 組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ>（2022年5月31日現在）

*2023年3月10日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について（2021年12月1日～2022年5月31日）

（米ドル）



○費用明細（2022年5月31日に終了した期間）（単位：米ドル）

費用	
当座借越支払利息	28,459
スワップ契約を除く支払利息	722
有価証券貸付にかかる手数料	20,729
投資顧問報酬	7,744,929
保管費用	255,800
管理事務代行報酬	269,995
販売報酬およびサービシング報酬	611,047
名義書換事務代行報酬	101,342
年次税	334,654
監査報酬	6,307
管理会社報酬	288,572
取締役報酬	13,212
弁護士報酬	44,044
保険費用	12,900
印刷費用	37,249
出版費用	4,807
税務報告報酬	16,716
支払代理人報酬	11,720
規制報告報酬	26,585
その他費用	87,921
	<u>9,917,710</u>
費用合計	<u>9,917,710</u>

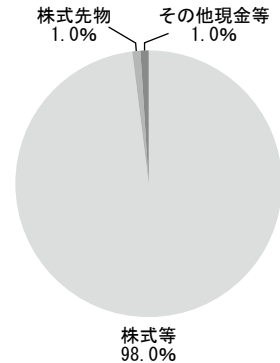
（注）費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

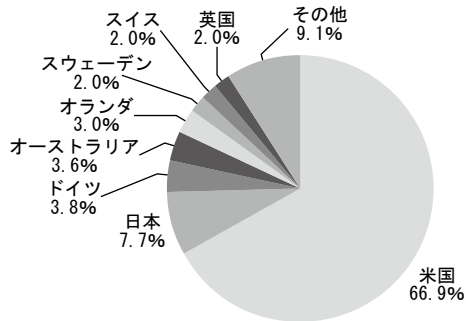
（組入銘柄数：204銘柄）

	銘柄	国	比率
1	アップル	米国	3.4%
2	アルファベット クラスC	米国	3.2%
3	マイクロソフト	米国	2.7%
4	ASMLホールディング	オランダ	1.6%
5	パークシャー・ハサウェイ	米国	1.5%
6	テスラ	米国	1.3%
7	アマゾン・ドット・コム	米国	1.2%
8	アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド	米国	1.2%
9	メタ・プラットフォームズ	米国	1.2%
10	アンセム	米国	1.1%

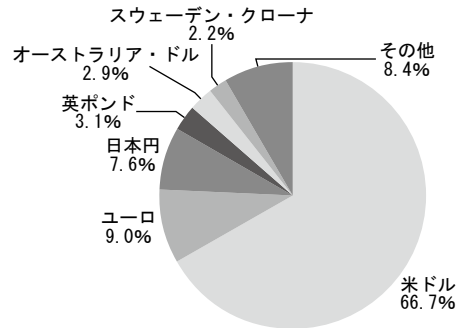
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



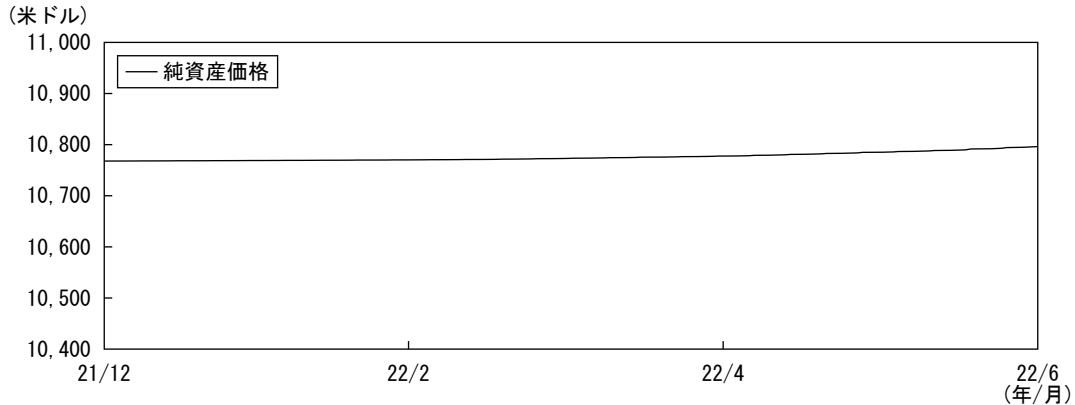
（注）上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>（2022年6月30日現在）

*2023年3月10日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について（2022年1月1日～2022年6月30日）

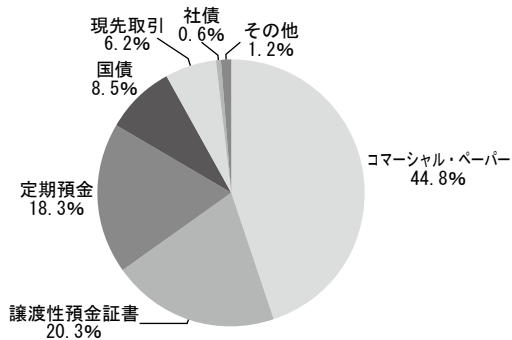


○費用明細（2022年6月30日に終了した期間）（単位：米ドル）

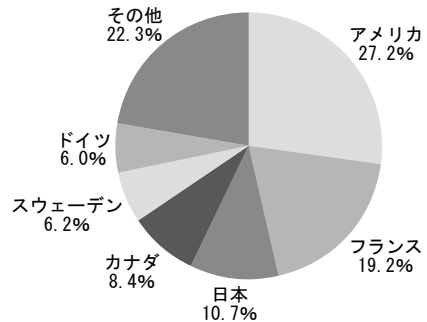
費用	
投資顧問報酬	27,371,018
管理会社報酬	1,542,123
管理事務代行報酬	505,023
保管費用	779,773
販売報酬	1,118,835
名義書換事務代行報酬	233,260
監査報酬	7,366
取締役報酬	6,801
弁護士報酬	16,129
保険費用	74,865
印刷費用	14,350
その他費用	276,530
費用合計	31,946,073
投資顧問報酬調整額	(3,381,400)
運用費用合計	28,564,673

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

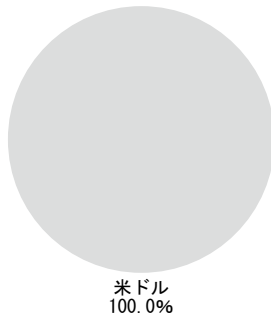
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数：220銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	Sumitomo Mitsui Banking Corp Repo 1.550% 2022/7/1	現先取引	米ドル	3.6%
2	United States Cash Management Bill 2.060% 2022/10/25	国債	米ドル	3.5%
3	Societe Generale 1.680% 2022/7/1	定期預金	米ドル	2.9%
4	Societe Generale 1.680% 2022/7/4	定期預金	米ドル	2.9%
5	United States Cash Management Bill 2.090% 2022/10/18	国債	米ドル	2.9%
6	Skandinaviska Enskilda Banken AB 1.560% 2022/7/1	定期預金	米ドル	2.4%
7	Toronto-Dominion Bank/The 1.560% 2022/7/1	定期預金	米ドル	2.0%
8	Credit Industriel et Commercial 1.580% 2022/7/1	定期預金	米ドル	1.9%
9	Credit Agricole CIB 1.560% 2022/7/1	定期預金	米ドル	1.7%
10	Citigroup Global Markets Inc Repo 1.530% 2022/7/1	現先取引	米ドル	1.6%

(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。